

平成29年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	16	学校名	県立水戸第一高等学校				課程	全日制		学校長名	鈴木 一弘					
副校長名	金田 郁夫		教頭名		青木 睦人			事務室長名		高麗 良男						
教職員数	教諭	59	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	6	実習教諭 実習講師 実習助手	1	事務職員	5	技術職員等	3	計	82
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
	普通科	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
		180	145	186	139	182	138			548	422	24				

2 目指す学校像

- ・ 授業を中心とした、意欲的で活気ある学習活動を展開する学校
- ・ 生徒が特別活動（学校行事、ホームルーム、生徒会活動）、部活動など多様な活動機会の中で切磋琢磨し、能動的な経験を蓄積しながらたくましく成長できる学校
- ・ 生徒一人ひとりの進路希望実現に貢献できる学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現 状 分 析	課 題																																										
大学進学	<p>【過去5年間の大学入試結果概要】*（ ）内は過年度卒を含めた数字</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公立大学・準大学合格者数</td> <td>95 (176)</td> <td>149 (240)</td> <td>156 (240)</td> <td>139 (213)</td> <td>129 (212)</td> </tr> <tr> <td>国公立・準大学医学部(医)合格者数</td> <td>6 (18)</td> <td>5 (20)</td> <td>8 (25)</td> <td>12 (28)</td> <td>3 (8)</td> </tr> <tr> <td>私立大学医学部(医)合格者数</td> <td>5 (9)</td> <td>1 (11)</td> <td>2 (18)</td> <td>4 (8)</td> <td>3 (18)</td> </tr> <tr> <td>難関私立大学合格者数</td> <td>52 (109)</td> <td>58 (125)</td> <td>62 (105)</td> <td>53 (90)</td> <td>39 (98)</td> </tr> <tr> <td>実合格率(全体)</td> <td>53.4</td> <td>64.4</td> <td>74.8</td> <td>66.4</td> <td>69.6</td> </tr> <tr> <td>実進学率(全体)</td> <td>46.6</td> <td>63.2</td> <td>68.3</td> <td>57.9</td> <td>62.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">H29.4.1現在</p> <p>1. 国公立大学の合格者数については、4年連続で過年度を含めた総数で200名を超えている。東京大学では、12名が現役で合格した。過年度を含めると16名合格であった。</p> <p>2. 国公立大学・準大学の医学部医学科については、全国的に難化した結果、過年度を含めて8名合格にとどまった。</p> <p>3. 早稲田、慶應、上智の難関私立大学については、本校では国公立大学を志向する生徒が多く、第一志望で入学する数は限られている。</p>		H25	H26	H27	H28	H29	国公立大学・準大学合格者数	95 (176)	149 (240)	156 (240)	139 (213)	129 (212)	国公立・準大学医学部(医)合格者数	6 (18)	5 (20)	8 (25)	12 (28)	3 (8)	私立大学医学部(医)合格者数	5 (9)	1 (11)	2 (18)	4 (8)	3 (18)	難関私立大学合格者数	52 (109)	58 (125)	62 (105)	53 (90)	39 (98)	実合格率(全体)	53.4	64.4	74.8	66.4	69.6	実進学率(全体)	46.6	63.2	68.3	57.9	62.5	<p>1. 教科指導をより一層充実させ、各教科・科目の目標を達成させると同時に、生徒一人ひとりの進路志望実現に必要な学力を身に付けさせること。</p> <p>2. 科目選択に関するガイダンスを充実させるとともに、広い視野から将来を見据え、高い志をもって大学進学を考えるよう指導すること。</p> <p>3. 3年間を見通した進路指導を実施し、早期に受験態勢に入れるように工夫・改善すること。</p> <p>4. 大学入試センター試験・国公立大学個別試験・私立大学試験に応じた指導と対策を講じ、希望する大学への進学率を向上させるため、教員の研修の充実に努めること。</p>
	H25	H26	H27	H28	H29																																							
国公立大学・準大学合格者数	95 (176)	149 (240)	156 (240)	139 (213)	129 (212)																																							
国公立・準大学医学部(医)合格者数	6 (18)	5 (20)	8 (25)	12 (28)	3 (8)																																							
私立大学医学部(医)合格者数	5 (9)	1 (11)	2 (18)	4 (8)	3 (18)																																							
難関私立大学合格者数	52 (109)	58 (125)	62 (105)	53 (90)	39 (98)																																							
実合格率(全体)	53.4	64.4	74.8	66.4	69.6																																							
実進学率(全体)	46.6	63.2	68.3	57.9	62.5																																							

特別活動等	【過去5年間の県高校総体総合順位（男子）】					1. 特別活動等を通して自主・自立の精神を育むこと。 2. 学習活動とのバランスのとれた各部・各同好会活動の中で、競技力の一層の向上を図ること。	
		H24	H25	H26	H27		H28
	順位	9	5	14	15		16
	県立順位	3	1	6	6	7	
1. ホームルーム活動、生徒会活動は活発であり、学苑祭や歩く会をはじめとして、学校行事が充実している。 2. 体育部16団体、文化部15団体、同好会9団体が活動しており、委員会も20を超える。部・同好会活動加入率は、文化部39.4%・体育部66.4%で、たいへん高い。体育部は全国大会に陸上競技部・山岳部、テニス部が、関東大会に陸上競技部・水泳部・山岳部が出場している。文化部は全国大会に化学部・書道部・棋道部・放送部が、関東大会に写真部・放送部が出場している。							

4 中期的目標

1 適切な選択科目・学校設定科目の設定やシラバスの作成により、単位制の利点を生かした学習指導の一層の充実を図るとともに、主体的で積極的な学習を育む魅力ある授業の創造のためにさらなる研究を進める。 2 学力向上に向けた本校の様々な取組について、保護者・地域住民等への周知・理解を図る。 3 同窓会のネットワークを活用し、各界で活躍する先輩を講師とする進路講演会を開催するなど、進路意識を高揚させるとともに、生徒の視野を広げ、高い志を得る契機となるような機会の設定に努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
教育課程の工夫改善と学習指導の充実	① 単位制を活用しながら、教育課程の工夫改善を行い、より教育効果の高い学習指導の充実を図る。 ② 土曜課外を計画的に実施し、学力の向上を図る。 ③ 生徒一人ひとりの「進路希望」に応じた選択を実現するため、科目選択のガイダンス等の充実を図る。 ④ 60分授業の効果を高めるために、さらなる授業の質の向上を目指して、授業に係る研修機会の確保・充実に努める。
進路意識の高揚と3年間を見通した学校生活の充実	⑤ 卒業生の協力を得て、高度な専門分野に興味・関心を抱いている生徒対象の進路講演会などを開催する。 ⑥ 新入生のための合格者ガイダンスなど、3年間を見通した学習や充実した学校生活を実現させるための指導を行う。
健康安全指導の充実	⑦ 健康安全に留意し、心身ともに健康で、生き生きとした学校生活を送れるよう指導する。
特別活動等の充実	⑧ 特別活動（学校行事、ホームルーム、生徒会活動）、部活動等の充実をはかり、創造性を養い、自主自立の精神の確立に努める。 ⑨ 学校行事を適切に配置することにより、各行事の円滑な実施と充実に努め、新たな伝統を創造を目指す。
将来を見据えた教育活動の見直しと充実	⑩ グローバル化する社会に対応できる人材を育成するために、変化する社会を見通しながら、教育活動の見直しと充実を図る。